

# シルバー日向山甲

第 62 号  
令和4年1月1日  
編集発行

公益社団法人  
日向市シルバー人材センター  
〒883-0021 日向市大字財光寺847番地1  
TEL (0982) 52-2200  
FAX (0982) 52-3476



新年あけましておめでとうございます



理事長  
尾崎 光一



皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと心からお喜びを申し上げます。  
旧年中は会員の皆様のご協力により、シルバー人材センターをお引き立て頂きました。

また、様々な業務のご発注により、シルバー人材センターをお引き立て頂きました。皆様にも心からお礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大で、公共施設の利用休止やイベント等の中止など生活に影響の出る状況となりました。センターでも感染する恐れがあることから各種行事をやむなく縮小や中止をせざるを得ませんでした。

また、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」が世界各地で相次いで確認され今年も感染の脅威は続いておりますが、会員・役員が一丸となりマスク着用など必要な感染対策を講じて事業を進めてまいりますので皆様のご協力をお願い申し上げます。さて、少子高齢化が進む中、国は昨年四月より経済社会の活力を維持するため働く意欲のある高齢者が能力を発揮でき活躍できる環境整備を図ることが必要とされ七十歳までの就業機会を確保するための努力義務を設けました。

継続雇用制度が浸透すれば会員の確保も厳しくなり、センターの高齢化にもなお一層拍車がかかるものと思われれます。

このため、これまで以上に皆様のニーズに対応できる魅力あるセンターづくりに取り組んで参りますので、ご支援をお願いいたします。

何と云いしても、会員さんあつてのセンターですので会員拡大にご友人やご近所の方々にもお声をかけていただき一人でも多くの方が仲間になっていただければ幸いです。

結びに、この一年が安全で事故のない良い年となることを願いますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ新年の挨拶いたします。





8/26 (木)

市長 要請行動



朝市



12/18 (土)

みんなとね

朝市



事務局長

遅ればせながら... 第9代 事務局長 を紹介!

甲斐 純子 事務局長

平成30年度から日向市SC初の女性事務局長に就任し、もう4年が経とうとしています。ご存じのとおり「安全だより」の四コマ漫画の作者であり、絵だけでなく字も歌も上手いんです。才能豊かで、素早くて確かな判断力と行動力の持ち主です。でもハートはとても繊細。みんなの前では元気に振る舞いそれを見せないのがすごい!

年頭のごあいさつ



日向市長 十屋 幸平

明けましておめでとうございます。 会員の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げます。 旧年中は、市政各般にわたりご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。 また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛や他県との往来自粛など、感染拡大防止にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

強いご支援を賜ったところでありました。 コロナ禍でも工夫しながら前向きに新しい取り組みを進めておられる姿勢に敬意を表しますとともに、皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。 ワクチンの接種につきましても、着実に進んでおりますが、引き続き、感染防止対策に万全を尽くすとともに、経済対策や生活支援策などに機を逸することなく取り組み、ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえた施策を一層推進してまいります。 さて、本市は、昨年の市制施行70周年という節目を経て、新たな一歩を踏み出しました。新年を迎え、「日向で育った子どもたちが、地元に残り、帰りたくなるような、笑顔があふれる心豊かな日向市」の実現に向けて、決意を新たにしたいところです。 今後、まちづくりの指針である第2次日向市総合計画・後期基本計画に基づき、様々な施策に取り組みとともに、将来のまちづくりの原動力となる「若者」と「女性」に焦点を当て、「若者に選ばれるまちづくり」と「女性が活躍できる環境の充実」を推進してまいります。 皆様におかれましては、本年も健



事務局長 甲斐 純子

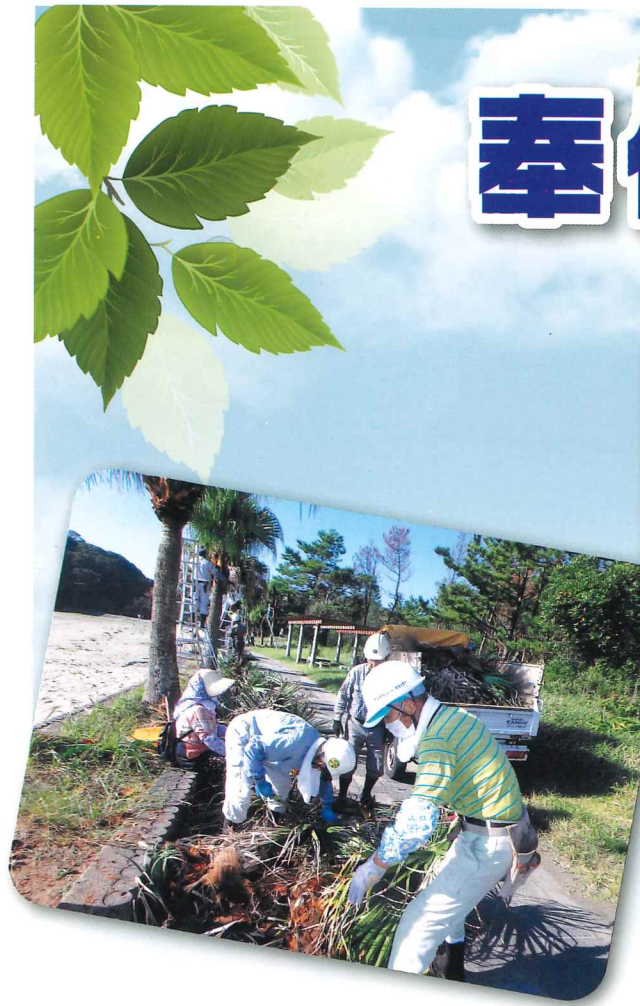
康に十分ご留意され、心身ともに充実した生活をお送りいただくとともに、長年培われた経験や知識、技術を存分に発揮していただき、地域の活性化にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。 皆様が平穏で、明るく幸せな一年を過ごされますよう心からお祈り申し上げます。 明けましておめでとうございます。 会員の皆さまにおかれましては、お健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。 一昨年から全国に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が、未だ終息しないまま新しい年の始まりとなりました。幸いワクチン接種が進み、感染者も減少しています。 停滞していた経済活動も昨年末か

少しづつ動き出しました。寅年というのは、春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だそうです。まさに今年はコロナ共存であつても感染対策に気を付けながら、シルバー事業も前進、成長を目指していきたいと思っております。 昨年は「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正法が4月から施行され、70歳までの就業機会の確保が企業の努力義務とされました。そのような中で私たちは、就職が厳しい環境にいるが働きたい高齢者の就業へのマッチングや80歳を超えても活躍できる就業機会の創出など、シルバー人材センターだからこそ出来ることを努力してまいります。 関係各位の皆様には、さらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。 年頭にあたり、皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。





# 奉仕作業 伊勢ヶ浜周辺 10/15(金)



今年度の奉仕作業もコロナ感染防止対策として全会員には呼びかけず、80名の会員で行いました。  
 毎年作業している会員も、初めて参加する会員も、時間いっぱい精いっぱいがんばってくれました。お疲れさまでした。  
 来年はみんなで気持ちのいい汗をかき、きれいな景色を眺めながらおいしいお弁当を食べたいですね!



初めて奉仕作業に参加しての第一印象は、皆が一致しているという点でした。  
 久しぶりの再会を喜び互いを労い合う人達もいれば、多くを語らず働く仲間、兎角集団社会で生じがちな摩擦や衝突のない、人として円熟したこのような人達に囲まれての奉仕作業にホッとする思いでした。  
 一致がある目的に向かって一つになることだとすれば、それは確かに満たされていると感心しました。  
 地域社会に貢献する意義深いこの活動の舞台裏でこれを支えておられる事務・管理の方々の骨折りにも感謝したいものです。

幸脇班 川野 幸則



## 川柳の部



◆優秀賞  
 『また来てと  
 声をかけられ 疲れとぶ』  
 川口 文子



◆優秀賞  
 『孫のお願い「コロナ禍だから  
 自粛してね」でも僕のお小遣いは  
 自粛しなくていいよ』  
 私は大きなマスクで草取り作業』  
 仙波 忠男



◆最優秀賞  
 『シルバーで  
 体力作って 若がえり』  
 緒方 弘子



◆優秀賞  
 『気をつけよう  
 慣れと自信と 気のゆるみ』  
 原田 鶴代



◆優秀賞  
 『安全は一人一人が責任者  
 無理なく無駄なく油断なく』  
 工藤 弘士



◆最優秀賞  
 『慣れた作業も今一度  
 初心に帰って安全作業』  
 黒木 繁

## 安全標語の部



第44回

# グランドゴルフ大会

11/5(金) 東郷グラウンド



**幸脇班 甲斐 和子**

今回はブービー賞という名誉?な賞を頂きました。毎回毎回「出場することに意義がある」とぜひ成長の無い気持ちで出場して、成績発表になると、あーと肩を落とします。一ホールに一打多い積みかさねでえらいな貯金になります。今回はまた地球を打ったりと打ちすぎたようでした。ホールインワンをねらったのが悪かったようでした。でも、ブービー賞で私のいちばんほしかった商品も頂いて、順位はともかくうれしいです。みなさんもブービー賞をねらってくださいませ。ありがとうございました。

**日知屋本郷B班 工藤 弘士**

久しぶりに入賞して賞をもらいありがとうございます。またがんばります。



## ゴルフコンペ 11/22(月)



**財光寺B班 大田 寛**

第四十四回グランドゴルフ大会は、コロナ禍の中、一年ぶりの大会となりました。当日は素晴らしい秋晴れとなり、新鮮な気持ちで競技ができました。

結果、何を間違えたか優勝してしまい大変おどろいております。今回はリキまず、リラックスして回れたことが結果につながったのではないかと思います。これは人生にも通じるものがありそうで、今後この気持ちで頑張りたいと思います。ありがとうございました。

**財光寺D班 黒木 利春**

今回はホールインワンが出なかつたので、まさか入賞するとは思わず、しかも二位なんて間違いではないかと思いましたが。久しぶりに開催されたシルバーの大会で入賞できうれしかったです。ありがとうございました。









シルバー農園  
ひまわり会



大正琴  
菜の花会



サークル活動

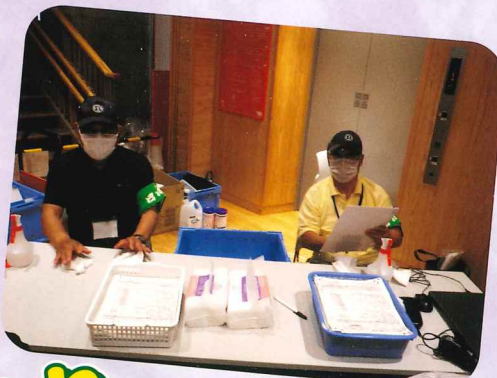
民謡  
百舌の会



小物づくり  
そよ風会



就業あれこれ



全5回 布ぞうりづくり



11/10(水) 第2回 布花講座



11/4(木) シルバー人材センター普及啓発セミナー

富高A班 黒木 智子

第2部 シルバー会員による活動紹介

11月4日、私達「そよ風会」の会員九名は宮崎市民文化ホールで行われた普及啓発セミナーに出席してきました。着いて作品を陳列していると、すぐにお客様が作品を手にとられ次々とお買い上げくださいました。

第1部 美魔女キャサリン講演会「人生笑ったもん勝ち」

講師の相良照代様の講演は、題目通り楽しい講演でした。何事にも前向きに考え良き人生を...という話でした。

○剪定業務について、宮崎市シルバー人材センター会員の発表では、剪定バサミは片方の手を動かすだけでよい。  
○綾町は、みんなでつくる花壇プロジェクト。  
○日向市は「小物づくりから古着のリメイクまで」ということで、全員が自分で作った帽子・洋服を着用して登壇し、壇上でクルリと回るファッションショーで大好評でした。  
○小林市・宮崎市のセンターもそれぞれ発表し、3時30分に閉会しました。

私達の持って行った小物・洋服はほぼ完売状態で気持ちよく帰路につきました。事務局の皆様のお陰で楽しい、有意義な一日でした。有難うございました。



11/2(火)

五十猛神社

ひよっこ踊り





# ～配分金の大事なお話～

事務局だより

**配分金**とは、会員の皆さんがお仕事をした対価として受け取るお金です。

**配分金**は、所得税法上では雑所得として扱われ所得税の対象になります。後日「配分金支払証明書」を送付しますので確定申告を行ってください。

**配分金**は、就業したことによる報酬とその報酬に係る**消費税が含まれています**。

会員の皆さんは消費税法上の事業者として受け取った配分金に係る消費税の納税義務者ですが、課税売上高(配分金等の証明額)が1,000万円以下であるため免税事

業者として取扱われています。

しかし、令和5年10月に「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」が導入される予定です。これにより会員の皆さんが受け取る配分金に係る消費税の取り扱いが変わっていく可能性があります。制度導入にあたって現時点でまだ不明な点があるため、制度がはっきりした時点で改めてお知らせします。よろしく願いいたします。

※例えば、配分金が1,100円の場合

就業したことによる報酬	報酬に係る消費税
1,000円	100円

## ご近所付き合いを大切に!

先日こんなことがありました。アパートに一人で住んでいる女性は隣の部屋のお子さんとの大の仲良し。毎朝ベランダ越しにあいさつをし、お菓子をあげていました。でもある朝、男の子が声をかけても女性が出てこず、男の子は寂しそうにしています。気になったお母さんが不動産屋さんに連絡をし、部屋のドアを開けてもらうと、女性はベッドから落ちて動けなかったそうです。東日本大震災では、近所付き合いや助け合いの大切さを再確認した人が多いといえます。万一の災害時や病気・ケガなどの緊急時にはご近所さんの力が大きな助けになります。今回も隣の小さな男の子によって女性は助かりました。

時に、トラブルやクレームは顔の見えない、相手がどういう人かわからない場合に起こりがちなのだそうです。普段から顔見知りになっておけばお互いの不安を解消でき、トラブルも回避しやすくなります。もしかしたら自分が迷惑をかけることがあるかもしれないということも

忘れずにいましょう。

とある調査によると、1人暮らしでご近所付き合いが少なく社会的に孤立した高齢者は、ご近所付き合いがある人に比べ介護が必要な状態になったり死亡したりするリスクが1.7倍高くなるそうです。さらに運動・認知機能など心身の活力が低下した場合、要介護や死亡の発生率はそうでない人の2.3倍に高まります。介護予防で運動の呼びかけは一般的に行われていますが、例えば『みんなて話しましよ』といった社会的な交流を促す取り組みも重要だとか。センターは皆さんが来なくなるような通いの場になれるよう、これからも色々な活動を計画していきます。ご近所さんを誘って、どんどん参加してください！センターはいつもあなたの近くにあります。センターともよいお付き合いをお願いいたします。

### 会員ご逝去のおしらせ

片岡カメ子さん (85歳)  
美々津班 令和3年8月3日

黒木 毅さん (88歳)  
財光寺B班 令和3年10月8日

柏田 善和さん (84歳)  
日知屋枝郷B班 令和3年11月10日

心よりお悔やみを申し上げ、ご冥福をお祈り致します。

### 編集後記

新年あけましておめでとーございませす



皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。本年もどうぞよろしくお願い致します。

二〇二一年は、五七年ぶりとなる東京オリンピックが開催され、選手たちの活躍をテレビの前で応援したという会員の方もたくさんいらつしやるのではないのでしょうか。

私も、白血病から復活し東京オリンピックの舞台に立った池江璃花子選手の姿には大変感銘を受けました。

池江選手は白血病の闘病中に「神様は乗り越えられない試練は与えない」とおっしゃっていました。

これは、コロナ禍の中で生活を送っている私たちにも言えることなのかもしれません。生活様式が変化し、日常生活を送る上で不便なことはたくさんありますが「神様は乗り越えられない試練は与えない」と心に秘め、今年一年一日一日を元気に明るく過ごしていきましょう。

#### 編集委員

河野 道代  
堀田 栄子

#### 事務局職員

甲斐 純子  
黒木 順子